

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

令和4年9月上旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



ツルボ (キジカクシ科)

この時期、花茎が急にによきによき伸びてきます。



良く飛び回り落ち着きがありません。幼虫の食草であるクスノキにとまったところを写しました。

アオスジアゲハ (アゲハチョウ科)



センニンソウ (キンポウゲ科)

白い花がよく目立ちます。



タヌキモ (タヌキモ科)

食虫植物のタヌキモが下池から中池で広がっています。



スミレホコリタケ (ホコリタケ科)

ゴルフボールに似ており、すぐ蹴飛ばされてしまいます。イベント広場で何度も発生しており、スミレ色の胞子を飛散させます。



ゲンノショウコ (フウロソウ科)

生薬の一つで、赤い花、白い花を咲かせます。



カキノキの若い実 (カキノキ科)

カキノキの若い実が色付き始めました。



コムスジ (タテハチョウ科)

翅を広げると白い線が「三」に見えます。幼虫の食草はマメ科の植物です。



ミズヒキ (タデ科)

それぞれ紅白及び黄の細長い花序が「水引」に似ていることで名付けられました。



キンミズヒキ (バラ科)



クズ (マメ科)

花は美しいですが、他の植物に巻き付いて害を与えます。秋の七草の一つです。



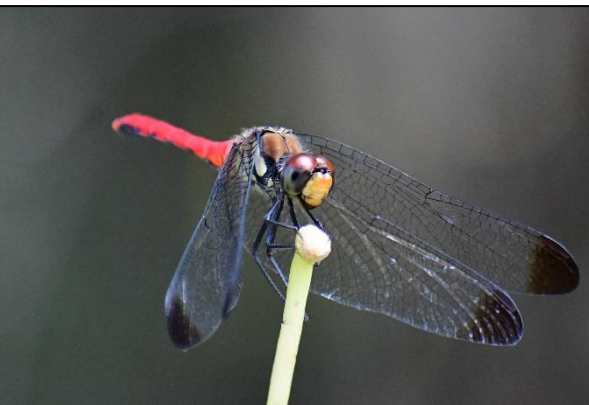
キアゲハの終齢幼虫 (アゲハチョウ科)

終齢幼虫は緑色を主体とした色彩がよく目立ちます。食草はセリ科の植物です。



コムラサキの若い実 (シソ科)

実が紫色に熟しつつあります。



リスアカネの雄 (トンボ科)

「リス」はトンボ学者の名前に由来するそうです。



ガガイモ (キョウチクトウ科)

つる性の多年草で、花はなかなか複雑な形をしています。